

セキュリティ・ミニキャンプ in 福岡 2019 専門講座

3月2日（土）～3日（日）

会場：JR博多シティ会議室 9階会議室2
応募締切：2019年1月28日（月）17時

参加無料



2004年度より毎年夏（8月）に開催している「セキュリティ・キャンプ（全国大会）※1」は、若年層のセキュリティ意識の向上と優秀なセキュリティ人材の早期発掘と育成という当初の目的に沿って、これまで数多くの将来有望な人材を輩出してきており、セキュリティ業界に留まらず各方面から、高度なIT人材育成の有益なイベントとして認知されつつあります。

しかし、キャンプに参加できる人数は限られており、開催地も関東・関西地域に限定されていたことから、日本各地の人材に高度な知識や技術を習得する機会が十分に与えられているわけではありませんでした。

そこで、「セキュリティ・キャンプ（全国大会）」の開催に加え、若年層を対象とした情報セキュリティ人材育成に関心の高い地域の拠点においてセキュリティ・ミニキャンプを2013年より開催しています。

九州地方のセキュリティ・ミニキャンプは、昨年の引き続き福岡県福岡市での開催となります。皆様の積極的なご参加をお待ちしています。

※1「セキュリティ・キャンプ（全国大会）」とは、経済産業省共催、文部科学省後援のもと、一般社団法人セキュリティ・キャンプ協議会と独立行政法人情報処理推進機構が実施する、22歳以下の学生・生徒を対象としたコンピュータセキュリティを学ぶ専門形式の講習会です。

開催概要

日 程	2019年3月2日（土）13:00（受付開始12:30）～3月3日（日）16:00（2日間通い）
場 所	JR博多シティ会議室 9階会議室2 〒812-0012 福岡市博多区博多駅中央街1番1号 JR博多シティ9F https://www.jrhakatacity.com/communicationspace/#Access
定 員	20名 選考あり
参 加 資 格	日本国内に居住する、2019年3月31日時点において25歳以下の大学院生・学生・生徒
主 催	セキュリティ人材育成・九州実施協議会、 一般社団法人セキュリティ・キャンプ協議会、独立行政法人情報処理推進機構
共 催 （ 予 定 ）	経済産業省九州経済産業局、九州大学サイバーセキュリティセンター
後 援 （ 予 定 ）	福岡県、九州経済連合会
費 用	無料。ただし会場までの交通費は自己負担でお願いいたします。
U R L	https://www.security-camp.or.jp/minicamp/fukuoka2019.html

参加要項（事前にご確認ください）

参加条件	<ul style="list-style-type: none">・日本国内に居住する、2019年3月31日時点において25歳以下の大学院生・学生・生徒（当日、学生証または年齢がわかるものをご提示いただきます）。・団体行動のルールを守り、他の参加者と協調して参加できること。・コンピュータサイエンスに関する基礎知識を持っていること。・演習で使用する下記条件のPCを持参できること<ul style="list-style-type: none">-HDDに20GB程度の空き容量があること-USB（TypeA）の空きポートがあること-有線及び無線LANに接続可能なこと（有線LANアダプタがない方は申し出てください）・VirtualBoxまたはVMwareの簡単な操作が可能で、前出の仮想環境においてLinuxのコマンド操作が可能なこと。参加決定後に指定するソフトウェアをインストールし起動確認していただきます（詳細は参加決定後にご連絡します）。・別途定める「セキュリティ・ミニキャンプin福岡2019」実施規定を遵守できること。・参加時点で20歳未満の方は、参加について保護者の同意を得られること（参加決定時に保護者の同意書を提出していただきます）。
申込方法	専門講座申込用紙(最終ページ)に必要事項をご記入の上、窓口までE-mailにて申し込みください。 ※申込用紙の記入事項、質問事項に不備があった場合には、受領されない場合がありますので注意してください。 ※メールで申込の際には、必ずタイトルを以下の通りとし、申込窓口のEmailアドレス宛に送信してください。 タイトル：セキュリティ・ミニキャンプ in 福岡 2019 専門講座参加申込 ※申込された方には、窓口より申込受領の旨のリプライメールを送信します。メールが届かない場合は事務局までご連絡ください。
申込窓口	セキュリティ・ミニキャンプin福岡2019申込窓口 Email：fukuoka-senmon@security-camp.or.jp
申込締切	1月28日（月）17:00必着（17:00までに到着したものを有効とします）
参加者決定のお知らせ	審査の上、応募された方全員に2月1日（金）までにメールまたは電話にて連絡します。
留意事項	<ul style="list-style-type: none">・申込者多数の場合には、参加できないことがあります。専門講座の参加者は、申込書の質問事項回答内容を審査の上、九州地方の方を優先に選考します。・会場までの往復の交通機関や宿泊施設は必要に応じてご自身で手配（費用自己負担）してください。・専門講座の参加が決定された方には、「セキュリティ・ミニキャンプin福岡2019」実施規定を遵守する旨の誓約書、学生証（小学生は在学証明書）のコピーを提出していただきます。また、事前学習課題に取り組んでいただくことがあります。・ミニキャンプ期間中には、マスコミ各社による取材活動が行われることがあります。また、取材された結果が氏名・学校・顔写真を含んだ受講時の様子を含めて各メディアに掲載されることがありますので、ミニキャンプに申込される方はその旨事前にご確認ください。・ミニキャンプ開催後には、主催者ホームページにて「セキュリティ・ミニキャンプin福岡2019」の開催報告をする予定ですが、その際参加者が写っている画像を掲載する可能性があります。キャンプに申込される方はその旨事前にご確認ください。・ミニキャンプの講義の様子は、キャンプ事業の広報活動や技術啓発を目的として撮影、録音し、その内容を公開する場合があります。・本事業の成果をはかることを目的として、ミニキャンプ参加後、参加者については参加者アンケートの提出を含めて、定期的にその後の活動状況についてフォローアップ調査（参加者は回答必須）させていただきます。参加を希望される方はその旨事前にご確認ください。・「セキュリティ・ミニキャンプin福岡2019」に参加した方でも、セキュリティ・キャンプ全国大会や他のミニキャンプの応募は可能です。

スケジュール

※講義内容（テーマ、担当講師等は変更する可能性があります。

専門講座 3月2日 土曜日	
12:30～	受付開始
13:00～13:30 (30分)	『オープニング』はせがわ ようすけ氏 一般社団法人セキュリティ・キャンプ協議会地域連携グループリーダー / 株式会社セキュアスカイ・テクノロジー取締役CTO
13:30～16:00 (150分)	『Webアプリケーション攻防戦演習』服部 祐一氏 株式会社セキュアサイクル、中野 佑亮氏 セキュリティ・ミニキャンプ修了生 / 株式会社セキュアサイクル Webアプリケーションセキュリティをとりまく課題を解決することを目的とする、国際的でオープンなコミュニティであるOWASP(Open Web Application Security Project)のIncubator ProjectであるOWASP A&D Projectで公開されている演習環境を用いてWebアプリケーションの脆弱性を"探す"、"修正する"の2つのスキルを向上するための演習を行います。
16:00～18:30 (150分)	『LANケーブルを自作して通信をモニタリングしてみよう』今岡 通博氏 セキュリティ・キャンプ講師 / 今岡工学事務所 LANにおける盗聴の検出とその防止方法は一般に物理層よりも上層で行われています。これは、一般的に知られている盗聴方法がデータリンク層 (L2) またはその上層に対する攻撃であることが多いからです。この講義では、過去に見過ごされがちなネットワークの物理層の盗聴方法に注目します。参加者は自分自身で実験を行い、物理層の脆弱性と対策について理解を深めることができます。
18:30	1日目終了～解散
専門講座 3月3日 日曜日	
9:00～	2日目受付開始
09:30～12:00 (150分)	『クラウド・ホスティングサービスのセキュリティと運用技術の研究』松本 亮介氏 セキュリティ・キャンプ講師 / さくらインターネット研究所 クラウドサービスやホスティングサービスの利用が当たり前の時代ではありますが、そのサービスを支える技術は今も進化し続けています。本講義では、基盤技術における、セキュリティや性能、運用技術に関する最新動向と最新の研究の取り組みについてお話しします。
12:00～13:00 (60分)	お昼休み (昼食)
13:00～15:30 (150分)	『Private CaaS 基盤の構築と開発』元内 柊也氏 セキュリティ・ミニキャンプ修了生 / GMO Internet, Inc. Webのインフラシステムを取り巻く環境は多様性の名の下に混沌を極めていきます。また、DockerやKubernetesをはじめとしたコンテナ技術の台頭は人々をクラウドネイティブコンピューティングという更なる混沌へと導きました。本講義では、Infrastructure as a Service な環境上にKubernetes as a Service、Function as a Serviceの構築を行い、実際に簡単なアプリケーションの開発を通してクラウドネイティブなインフラや開発について学んでもらいたいと思います。
15:30～16:00	クロージング (記念撮影、アンケート記入等) ～解散

講師プロフィール

服部 祐一 (はっとりゆういち)

株式会社セキュアサイクル 代表取締役、OWASP OWASP A&D Project Leader、OWASP Kyushu Chapter Leader、北九州情報セキュリティ勉強会「セキユキ」代表、SECCON実行委員、セキュリティキャンプ2006参加。大学院時代は、Microsoft Research AsiaにResearch Internshipとして参加し、人間の行動認識などの研究に携わる。各地のセキュリティ関連イベントや、企業、大学等での講演・トレーニング多数。

中野 佑亮 (なかのゆうすけ)

株式会社セキュアサイクルセキュリティエンジニア。東京の情報セキュリティ会社に新卒入社後、脆弱性診断やセキュリティ教育・トレーニングなどに携わる。また企業向けのハードニングのシナリオ作成・開発や採用CTFの問題作成などにも携わる。現在は、北九州で脆弱性診断やセキュリティ教育コンテンツの作成、フォレンジックなどを行っている。OWASP Kyushu Chapter Board Member。

今岡 通博 (いまおかみちひろ)

今岡工学事務所経営松山市在住。2015年からセキュリティ・キャンプ講師。今回皆さんと一緒に取り組むテーマは10BASE-Tのフィジカルレイヤーの話です。40年前からあるとても枯れた技術ですがLANの基本中の基本だと思っています。ソフトウェアで施すセキュリティはイーサネットコントローラーから上位にある目線では対策が打てません。私のコースでは簡単なケーブルを自作することでLAN間の通信を傍受したり、その対策について議論します。ネットワークの更にはディープな一面を垣間見る経験は、セキュリティ対策においてもさらに視野を広げられるのではないのでしょうか。私は今年56歳ですが、精神年齢は永遠の中学生です。皆さんと会えるのを楽しみにしています。短い時間ですが一緒に有意義な時間を造っていきましょう。

松本 亮介 (まつもとりょうすけ)

京都大学博士 (情報学)、さくらインターネット研究所上級研究員、ベハボ研究所客員研究員、Forkwell技術顧問、セキュリティ・キャンプ講師、情報処理学会各種委員、松本亮介事務所所長。2008年に現場の技術を知るため修士に行かずにシステム系企業に就職したのち、2012年に貴賓の修士取組として京都大学大学院の博士課程に入学。インターネット基盤技術の研究に取り組み、mod mruby、Engx、mrubyなどのOSSを始めとした多数のOSSへの貢献や学術的成果を修める。2015年4月より2018年10月までGMOハバボ株式会社にてアーキテクトとしてプロダクトのアーキテクトやエンジニア組織のマネージメントに従事すると同時に、ベハボ研究所では主席研究員としてOS・Middleware・HTTPに關する研究、及び、事業で実践できるレベルまで作りこむことを目標に研究に従事。2018年11月より現職のさくらインターネット研究所で上級研究員を務める。第9回日本OSS奨励賞や2014年度情報処理学会山下記念研究賞など、その他受賞多数。2016年に情報処理学会PSJ-ONEにおいて時流に乗る日本の若手トップ研究者19名に選出される。

元内 柊也 (もとうちしゅうや)

GMO Internet, Inc.において、システム設計の研究、設計、開発、運用などシステム設計における最適なアーキテクトの創造に挑戦し、新たなソリューションの提供などを行っている。SecHack3652018ではサーバーレスでセキュアなアプリケーションの実現というテーマで開発中。

セキュリティ・ミニキャンプ in 福岡 2019 専門講座問合せ窓口

一般社団法人セキュリティ・キャンプ協議会事務局

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-16-1 平河町森タワー 株式会社ラック内

TEL 03-6757-0196 FAX 03-6757-0112 Email info@security-camp.or.jp

セキュリティ・ミニキャンプ in 福岡 2019 専門講座 申込用紙

ふりがな		性別	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女
氏名		生年月日・年齢	年 月 日 歳
学校名			
学部学科・学年			
住所	〒 -		
電話番号		Email アドレス	
セキュリティ・ミニキャンプ in 福岡 2019 の開催を、何で知りましたか? (該当する <input type="checkbox"/> を <input checked="" type="checkbox"/> にして下さい) <input type="checkbox"/> 公式ホームページ <input type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> twitter <input type="checkbox"/> Facebook <input type="checkbox"/> 先生からの紹介 <input type="checkbox"/> 友人からの紹介 <input type="checkbox"/> サイボウズLive (セキュリティ・キャンプ修了生のみ選択可) <input type="checkbox"/> その他()			
(セキュリティ・キャンプ中央大会・全国大会の修了生のみお答えください) セキュリティ・キャンプ (セキュリティ&プログラミングキャンプ) に参加した年と2015年～2018年以外は参加したクラスをお答えください。 参加年： 参加したクラス (2015年～2018年参加者は除く)：			
質問事項			
1	あなたがミニキャンプに応募された動機について教えてください。また、この講義で学んだことを何に役立てたいかを教えてください。		
	【回答】		
2	自分で作成したプログラムについて300文字程度で説明してください。		
	【回答】		
3	クラウドネイティブに関して貴方が考える利点と欠点とその理由を教えてください。		
	【回答】		
4	Wiresharkあるいはtcpdumpの使用経験を教えてください。		

※本書に記載の「個人情報の取り扱いについて」に同意された場合のみお申込みください。

※回答が書ききれない場合は他の用紙に記入下さい。書式は問いません。Emailでの申し込みの場合は、メール本文に必要事項をご記入いただいても構いません。

■個人情報の取り扱いについて

セキュリティ・キャンプ協議会(以下、当会)は、「セキュリティ・ミニキャンプ in 福岡 2019」のお申込みにおいて、個人情報保護の重要性を認識し、ご提供いただく個人情報を慎重に取り扱い、プライバシーの保護に努めております。当会では申込者の個人情報を以下の目的に利用し、他の目的では利用しません。また当会、IPA以外の第三者には一切開示しません。

(1) 申込者からのイベントの申込み手続きを受付けるため (2) 当会に関わるイベント情報などを提供するため

当会に対して個人情報を与えるか否かは、申込者をご判断ください。個人情報をご提供いただけない場合には、イベントへの参加申込をお受けすることができなくなりますのでご了承ください。

本告知に関する個人情報管理責任者 セキュリティ・キャンプ協議会 会長 西本 逸郎 E-Mail:info@security-camp.or.jp